奈良県教諭の資質向上に関する指標

奈良県の目指す教育	基本理念	**本人のための教育** **一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ**	奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ 地域と協働して活躍する人を育てる 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	奈良の学び推進プラン

教員志望の高校生段階

～関わる～ コミュニケーション力【多様性理解（人間関係能力）】人とつながる

～見つめる～ 情熱・人間性【自尊感情（自己理解能力）】自分とつながる

～知る～ 教育観【学ぶ楽しさを教える楽しさへ（専門的知識）】学びとつながる

教員養成段階	スタート時
教育に対する情熱をもち、常に児童生徒から学び続け、共に成長しようとしている 常識や礼儀作法を身に付け、高い規範意識をもち、自己の人間性を高めようとしている	
組織の一員としての自覚をもち、職務を協働して遂行することの重要性を理解している	組織の一員として果たすべき役割を自覚し、協働して様々な事案に対応することができる
学習指導の基本的事項（教科等の知識や技能等）を身に付けている 授業を行う上での基本的な指導技術（発問、板書、ノート指導等）を身に付けている	学習指導要領に基づいて授業を計画・実施するとともに、自己評価を改善につなげることができる 学習指導の基本的事項、授業を行う上での基本的な指導技術をもち、それらを活用して授業ができる
周囲の状況を判断して、自ら児童生徒に声をかけることの重要性を理解している 児童生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解している	基礎的な知識と技能を基に生徒指導に取り組むことができる 生徒指導の意義や命を守る指導の重要性を理解し、児童生徒一人一人と向き合うことができる 児童生徒に対して公平かつ共感的な態度で接することができる
児童生徒の特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応を理解している 互いに尊重し、共に学ぶことの大切さを理解している	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導に対する基礎的な知識を基に、指導や支援に取り組むことができる
授業や校務等におけるＩＣＴの活用や情報活用能力の育成についての意義を理解している	学校におけるＩＣＴ活用の意義を理解し、ＩＣＴを活用した授業ができる

奈良県教育振興大綱、奈良の学び推進プラン、奈良県の教育課題等を理解している　学習指導要領、基本的な法規を理解している

分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している 教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている			
	コミュニケーション能力	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている 愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている			
	マネジメント	・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる	・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる	・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる	・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりについて提案することができる
	連携・協働	・家庭や地域に対して、学級の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭や地域の協力のもと教育活動を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる	・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した教育活動を計画・推進することができる ・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる	・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりについて提案することができる ・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる
	危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる ・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる ・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる	・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる	・自校の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる
学習指導	各教科等の専門的知識	・各教科等の特質に応じ、資質・能力を育むために必要となる専門的知識を身に付けている	・各教科等の特質に応じ、資質・能力を育むために必要となる専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる	・各教科等の特質に応じ、資質・能力を育むために必要となる専門的知識を高め、指導に生かすとともに他の教職員に助言することができる	・各教科等の特質に応じ、資質・能力を育むために必要となる専門性を高め続けるとともに、自校の学習指導上の課題について、他の教職員に指導・助言することができる
	授業設計	・学習指導要領の内容やカリキュラム・マネジメントの考え方に基づいて授業を設計することができる	・カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づき、他の教職員と協働して地域の人材等を活用した指導計画を作成し、授業を組み立てることができる	・学習指導要領及び自校の特色に基づき、リーダーシップを発揮して地域との連携・協働を図りながら指導計画を立案し、教育活動の質を高めるために単元や授業の組み立てを工夫し、実施することができる	・自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点をもち、教育課程の編成について提案することができる
	授業実践	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践を目指すとともに、基礎的な知識・技能の定着とそれらを活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・児童生徒の実態に応じた教材研究を行い、主体的に研究授業等に取り組むことができる	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践に努めるとともに、基礎的な知識・技能の確実な定着とそれらを適切に活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・児童生徒理解に基づき、付けたい力を明確にして授業等を構想するとともに、主体的に研究授業等に取り組むことができる	・主体的・対話的で深い学びを実現するために、言語活動を充実させる等の具体的な視点をもって授業実践を行うとともに、個に応じた指導等により、確かな学力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・授業力向上を図る観点から、教材研究や指導方法を工夫し、他の教員の授業構想等に対して助言することができる	・主体的・対話的で深い学びを実現するために、多様で具体的な視点をもって授業実践を率先して行うとともに、学びを人生や社会に生かすことができる児童生徒中心の授業を実践することができる ・自校の教育目標達成の観点から、多様な工夫を取り入れた計画を立案し、他の教員の授業構想等に対して指導・助言することができる
	評価・改善	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、指導技術等の改善に取り組むことができる	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題を明確にした上で、授業改善に取り組むことができる	・児童生徒の学習意欲や目標達成度から適切に自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題に対する解決方法を明確にして授業改善に取り組むことができる	・自校の教育課題への対応や研究主題の達成の視点から自己の授業を適切に評価し、研究授業等の機会を通して、率先して授業改善に取り組むことができる
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	・児童生徒一人一人の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解し、児童生徒と積極的に向き合うことができる ・児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、相互の多様性を認め合い安心できる学級づくりを行うことができる	・児童生徒一人一人の行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる ・学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じて自らの意見を述べ、児童生徒同士で考える支持的で創造的な学級経営を行うことができる	・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる ・自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しを行うことができる	・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等を指導・助言することができる ・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善について推進することができる
	指導	・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる	・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできる積極的な生徒指導を日常的に進めることができる ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる	・全ての児童生徒に対する諸課題の発生を未然防止する具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言することができる ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象に対応することができる	・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる ・自校の生徒指導の方針に基づいた生徒指導体制の構築に率先して取り組むことができる
	教育相談	・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる		・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる ・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる	
	キャリア教育	・キャリア教育の意義を理解し、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を育成し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践することができる	・キャリア教育の視点に立って、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導を行うことができる	・家庭や地域・社会、産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通して行うキャリア教育について、他の教職員に助言することができる	・児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握しながら、学校の教育活動全体を通して行うキャリア教育を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を他の教職員に指導・助言することができる
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる ・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる		・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる ・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる ・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる	
ＩＣＴや情報・教育データの利活用	授業や校務への活用	・学校におけるＩＣＴ活用の意義を理解し、授業や校務等において、ＩＣＴを適切に活用することができる	・児童生徒の情報活用の基盤となる知識や技能の育成に向けて、授業や校務等においてＩＣＴを効果的に活用し、個に応じた指導方法を工夫して授業を実践することができる	・児童生徒の情報活用能力の育成のために、授業や校務等において適切かつ効果的にＩＣＴを活用し、自己の実践を振り返り授業改善に取り組むとともに、ＩＣＴ活用について他の教職員に助言することができる	・ＩＣＴを多様な視点で活用した実践に取り組み、学校内外において自己の能力を生かし、教育の情報化を推進するとともに、ＩＣＴ活用について他の教職員に指導・助言することができる
	ＩＣＴ活用指導力	・児童生徒がＩＣＴの基本的な操作ができるように指導することができる	・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使えるように指導することができる	・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなせるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる	・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなし、学習を進められるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる
	教育データの利活用	・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる	・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる	・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切かつ効果的に活用し、授業改善や指導・支援について具体的に提案することができる	・教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる

※ 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」 は、 「学習指導」 「生徒指導」 を個別最適に行うものとしての位置付け

※ 「ＩＣＴや情報・教育データの利活用」 は、 「学習指導」 「生徒指導」 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」 をより効果的に行うための手段としての位置付け